◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆NPO アジア金型産業フォーラム

“CATIA”導入４１年の体験を生かす DX 化

～モノづくり現場の DX 化ノウハウを開放～

講 師 ㈱ツバメックス開発部 荒井 善之

1981 年にフランスのダッソー・システムズ社が開発したハイエンド CAD の“CATIA”をその翌年 1982 年に早くも日本の金型企業である同社が導入したため、 大手企業である自動車企業や、 電気・電機企業等々が、“CATIA”を見ようと見学が絶えなかった 42 年前の出来事があったという。

今、ものづくり産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）化が大企業だけで なく中小企業でも挑戦され始めた。しかし、その DX 化は簡単でないため、本当に導入することがスムーズに進行 していないのが現状ともなっている。

同社の 42 年前にスタートしたハイエンド CAD/CAM の体験こそ、今 騒がれているデジタルトランスフォーメーション（DX）化を当時から予想をしていたわけでなく、ハイエンド CAD の“CATIA”への取組みを粘り強く、自社で独自のソフト開発やプログラミング開発をすると同時に業務の標準化を進め、出来た業務をデジタル化により社内の情報の一気通貫を達成したのが、今言われている同社の“DX 化”という。

同社は如何に“CATIA”を使いこなすか試行錯誤しながら 1998 年に“CATIA”の大規模なカスタマイズ化に成功し、「TADO～TSUBAMEX Auto Die design system～」という非常に高度なオール ３次元設計システムを完成させた。

この３次元設計システム完成が営業情報、購買連携、図面・ビ ューワーなどモノづくりのすべてに繋ぐことになった。工場内では各所のモニターやタブレット端末を「TADD」接続し、仕様変更等の最新情報を常時確認が可能で、生産管理もする一気通貫型システムとして運用している。 これらの製造現場の体験を経たデジタルトランスフォーメーション（DX 化）の事業を本格するために、セミナー・見学会を毎月１回開催することになった。参加費は一人２万円（税込み）。

このコンサル事業は個別相談を受ける形式で２２年から開始 している。

・日 時 ２０２３年9月２８日（木）１６時～１８時

・会 場 ZOOM による講演会 ・申込はこちらへ メール info@npo-admf.org 1)氏名 2)社名/所属 3)アドレス 4)e-mail 5）会員/非会員 6）電話/ＦＡＸ ・定 員 100 名 ・参加費 ＊会員は無料 ＊非会員（年会費として¥５０００/4 月～3 月）

・入会届 年会費 http://www.ido21.com/mm//21.05.13nyukaihyou.pdf

NPO アジア金型産業フォーラム◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆